

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和6(2024)年度第3回みよし市行政評価委員会		
開催日時	令和6(2024)年9月20日(金) 午前10時から午前11時まで		
開催場所	みよし市役所3階 301会議室		
出席者	(会長) 村松幸廣 (副会長) 望月恒男 (委員) 小野田恵一、伊藤武、鶴飼俊郎、加納幸治 ※敬称略 (事務局) 深谷経営企画部長、近藤経営企画部次長兼企画政策課長、 加藤副主幹、清水専任副主幹、岡田主事、林主事		
次回開催予定日			
問合せ先	経営企画部企画政策課 担当 加藤 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
典 礼 近藤次長	ただいまから令和6年度第3回みよし市行政評価委員会を開催します。 始めに礼の交換を行いますので、恐れ入りますが御起立をお願いします。 一同、礼。よろしくお祈りします。 私は典礼を務めさせていただきます、経営企画部次長の近藤と申します。よろしくお祈りします。 委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、また暑い中御出席いただき誠にありがとうございます。 それでは会議に先立ちまして村松会長より御挨拶をお願いいたします。		
村松会長	残暑が厳しい中、またお忙しい中御出席いただきありがとうございます。 事務局においては、資料等御準備いただきありがとうございます。 前もって委員の皆様から御意見はいただいておりますが、今日も忌憚のない御意見をいただければと思います。よろしくお祈りいたします。		
典 礼 近藤次長	ありがとうございました。 本日の議題は2件、協議事項は1件になりますが、議題に入る前に事務局より本日の流れを説明させていただきます。		
事務局	1つ目の議題についてですが、8月に開催した第2回行政評価委員会で実施した外部評価対象事務事業のヒアリングを、委員の皆様にご提出いただいた外部評価シートをもとに、資料1の外部評価シート一覧表を作成させていただきました。		

	<p>本日は事業ごとの今後の事業の方向性について決定していただきたいと思います。</p> <p>2つ目の議題についてですが、資料2のとおり、行政評価報告書の案を作成しましたので、記載内容等について御意見を伺いたいと考えております。</p> <p>そして最後に報告事項として、昨年度実施した外部評価対象事業の実施状況について、資料3として、本日机上に配布させていただきましたので、報告をさせていただきますいただきたいと思います。説明は以上です。</p>
典 礼 近藤次長	<p>それでは議事に入りたいと思いますので村松会長、議事の進行をよろしく願いいたします。</p>
村松会長	<p>本日の議題であります「外部評価シート評価結果のとりまとめ」から進めていきたいと思います。</p> <p>それでは、まず環境美化推進事業の今後の方向性についてですが、一番下の総合評価の欄を見ますと継続して実施が3名、改善が3名となっているので、とりまとめが難しいというところではありますが、それぞれの委員さんからこちらから見て時計回りに意見をいただければと思います。</p>
鵜飼委員	<p>緑のカーテン事業を進めて環境問題を意識されるならば、苗をもらった人たちの意見を聞いたうえで、やる必要性が低いのであれば当然止めてもいいと思いますし、意識が向上するならば継続していけばいいと思います。</p> <p>私自体は改善という形で評価します。</p>
村松会長	<p>継続も含めた改善ということですね。それでは続いて、加納委員お願いします。</p>
加納委員	<p>結論から言うと改善です。</p> <p>環境美化推進大会を実施していると思いますが、表彰は文化の日記念式典などで行い、子どもたちは学校で実施するというのであればそれでいいと思います。</p> <p>また、啓発で苗を配布するというのは、当然続けるべきだと思いますし、ただそれは人が集まるようなところで複数回実施して、苗を配布するのかわ種を配布するかはまた検討して実施していけばいいということで改善と評価しました。</p>
村松会長	<p>ありがとうございました。それでは、伊藤委員お願いします。</p>
伊藤委員	<p>鵜飼委員と同じように、事業のテーマからしますと、やはりごみの減量化についての取組が少し盛り込まれてもいいのかなと思いました。</p>
小野田委員	<p>緑のカーテン事業ですが、苗をもらいに行く人は、自分の家などの日除けのためにもらいに来ている人が多いと思うので、それは個人で用意してもらおうほうがいいと思います。推進員は行政区でいろんな役割がありますから、この事業は続けるということで評価します。</p>
望月副会長	<p>結論としては、継続して実施としました。</p> <p>環境美化という目標があって、その中で緑のカーテンはよくやっていると思いますが、やはりごみの問題がどうしても気になってしまいます。ですから、2つの事業を、バランスをとりつつ継続してやっていく、あるいは2つの事業を分けると縮小になると思います。そういう意味で最終的な評価に悩んだのですが、現状維持あるいは改善という評価にしました。</p>
村松会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私の意見は、継続して実施です。</p> <p>苗の配布や美化運動、SDGsなど非常にルーティン化されてきていますが、ある</p>

	<p>程度このまま進んでいくということで、環境美化意識を向上させる。事業全体としては継続してほしいですが、ある程度改善すべきところは改善して実施していただければと思います。以上です。</p> <p>皆さんの意見をまとめますと、継続して実施するが改善するべきところあるという点を付記するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>それでは続いて長寿介護課の「いきいきクラブ活動補助事業」です。また鵜飼委員から意見ををお願いします。</p>
鵜飼委員	<p>私は縮小と評価していますが、老人が増えるにもかかわらず、会員数が減っているという実態からすると、補助は減らすべきじゃないかと思います。</p>
加納委員	<p>私は結論を言うと拡大としています。補助金は物価上昇分があるので、3年か4年に1回見直しがされるかと思いますが、その分は上げてもいいと思っています。ただ、この事業自体が市ではなく主に社会福祉協議会がやっている事業で、それに補助金を出しているだけという話だと、この事業が進まないの、あくまでも社会福祉協議会と協力し合って、なおかつ社会福祉協議会を育てながら、この事業を進める必要があるというようなことも含めて拡大と評価しました。</p>
伊藤委員	<p>いきいきクラブの役員経験をして、非常に厳しい状況であることは痛感しております。地区の活動に社会福祉協議会を通して補助金が入ってくるのですが、活動費としての補助金は、非常に貴重な財源でありますので、今後とも多ければ多いほうがいいということと、会員が入らないというのは、魅力がないということだと思います。</p> <p>また、役員になると大変だから嫌だというのが現実です。ですので、具体的に会員のメリットが何かというのが言えるといいのですが、なかなか言えないというのが本音です。会員を増やすこと以外にクラブ存続への対策はないかと思われまます。</p>
小野田委員	<p>市の関わりも拡大すべきだし、各クラブ存続のためにも、会員1人当たり1,400円という補助金も増額をしたほうがいいと思います。</p>
望月副会長	<p>この事業自体は必要であって、御指摘があったように、クラブ会員が減少傾向でその増加策があまりないといった意見もあったのですが、そこは当然改善点ですよね。ですので、改善含みの継続という評価としました。</p>
村松会長	<p>私も継続して実施です。自主的な会員がどんどん減少しているという現状だと思いますので、活性化のためには何らかの施策をする必要があり、そのためには多少お金が必要だと思います。ただ全体的な予算規模拡大はなかなか難しい点があるかと思っています。</p> <p>では、皆さんの意見をまとめていきますが、拡大が2人、継続が2人、改善が1人、縮小が1人で、それぞれ今のままではいけないという危機感を持っているかと思っています。会員のメリットをもっと考えなければならぬので事業の中身もある程度考えると、当然予算措置をしなければならぬと思います。それから、1人当たりの補助である1,400円をどうするかという意見もありました。</p>
小野田委員	<p>会員数が減っているの、補助金の総額は1人当たりの補助を上げててもそこまで多くはならないと思います。1人当たりいくらという上限は、何年か前より上回るような数字はよくないので、1人当たりを上げてても、会員数は減っている分、補助金は上がることはないです。市長が総会で、補助金の総額が減っていますが、</p>

	<p>1人当たりの補助額は現状どおりですと言っていました、現状維持だと各クラブはやっていけないと思います。</p> <p>会議をやるにしても、連合会の役員で順番にやらなければならない状態です。</p>
加納委員	<p>メリットをどう作るかというのを、誰が検討するかという組織自体がしっかりできていないですね。</p>
小野田委員	<p>市内の事業所に協賛していただいて、例えば老人クラブ会員だと割引がありますが、今は整体などだけです。飲食関係があるといいと思います。</p>
伊藤委員	<p>ほかにも、毎月1回神社の清掃をして、そのあと班長会議があります。</p>
小野田委員	<p>会長になると、班長会議の資料を作るので、作成に2日ぐらいかかっていました。事務所へ行って、印刷機で印刷し、製本していくという作業が結構大変です。なので、会員になっていても、役員の年代になってくるとやめてしまう現状があります。</p>
深谷経営企画部長	<p>今お話伺っていますと、やはりいきいきクラブの存在自体は継続すべきものではあるけれども、根本的な課題として会員の確保が難しい。そして会員1人当たりの金額を増やしても会員数が少ないので、そこまで大きな効果がない。ではどうしたらいいかという、会員数をいかに増やすか、ただその策が見つからないということになると先ほどの環境美化の話もそうでしたが、改善含みの現状維持になると思います。会員をいかに増やしていくかという課題があるので、それは今後市としてもしっかり取り組んで、先ほど加納委員がおっしゃったように、社会福祉協議会に任せて安心するのではないということも含めながらという形になるのではないかと考えています。</p>
村松会長	<p>今ご指摘いただきましたが、継続だけでも改善していく、それから、会員としてのメリットをしっかり考えていく必要があると思います。</p>
加納委員	<p>いきいきクラブの補助金のことですが、高齢者福祉をどう考えるかというのがこの議論とは少し違うところで出てきますが、市として今後どうしていくかということも考えていかなければならない話で、その主力のいきいきクラブが小さくなっていったら、市は高齢者福祉をどう考えているのかという話になってくるぐらいだと思います。</p>
小野田委員	<p>いきいきクラブの補助金をしっかり出していれば高齢者福祉に力入れていますといえると思いますが、65歳以上の1割もクラブに入っていないです。市は高齢者福祉何もやってないと言われてもしょうがないと思います。</p>
村松会長	<p>高齢者福祉にも力をいれていかなければいけないということも付記しましょう。では、継続して実施だけでも改善も視野に入れて、施策の充実を観点に入れていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>では次に、商工団体振興補助事業です。これは1名だけ拡大と評価していますので、加納委員さんの御意見をいただければと思います。</p>
加納委員	<p>拡大と書いてありますが、継続して実施ということ。やはり物価上昇分の増額が必要ではないかということで拡大としましたが、現状維持の中にそれが含まれるならば現状維持とします。</p> <p>この現状維持というのは、どのくらいを現状維持と考えているのでしょうか。</p>

深谷経営企画部長	<p>具体的な基準があるわけではないですが、今おっしゃったように、物価上昇に伴う人件費など、そういった費用が上がった分については、市としても見ていきます。予算査定などでしっかりやってきますので、そういうことは継続して実施の範疇であるという考え方として問題ないです。</p>
加納委員	<p>昔この事業を始めたときに、現状維持は前年度と対比してどのくらいかということで、私が最初に決めたのは、プラスマイナス10%程度の予算の変動は現状維持のうちだとしました。ですので、今回評価した拡大もこの範疇かと思い評価しました。</p>
村松会長	<p>それでは継続して実施という方向でよろしいでしょうか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>それでは続いて、4番目の「平和を紡ぐつどい開催事業」についてです。こちらも委員の皆様の意見が分かれていますので、お一人ずつ意見を伺いたいと思います。</p>
鵜飼委員	<p>改善とさせていただきます。追悼式は今回、平和を願うという形が前提ならば、例えばもっと平和祈念のほうに予算を割いてもいいのではないかとということで改善としました。</p>
加納委員	<p>私も改善としたのですが、遺族会で出た意見は尊重します。ただ追悼式はやはり実施したほうがいいのかと思っていますので、一般の方が参加できるような形で続けていくということで改善としました。</p>
伊藤委員	<p>私は継続して実施としました。先ほど加納委員がおっしゃったように、戦没者追悼式は継続すべきだろうと思います。非核平和都市宣言をしているということからしても、必要じゃないかと思いました。ただ、一部に追悼式と、平和を紡ぐ集いというスタイルでの開催がいいかと思っています。これはすでに令和5年度に実施されているようですが、引き続き今のようなスタイルで続けられたらどうかと思います。</p>
小野田委員	<p>継続して実施です。国が、全国戦没者追悼式参加者が少なくなってきたということと言われるけども、国が実施しているなら、市としても戦没者追悼式としては実施していくべきではないかと思っています。</p>
望月副会長	<p>改善としていますが、もちろん継続して実施することが前提のうえでということです。他の委員の方から御指摘がありましたが、遺族の方の負担が非常に大きいということは切り離して考えるべきだと思いますので、そういった意味で改善です。</p>
村松会長	<p>継続して実施です。市が果たすべき役割が大きいので本腰入れてもらえればと思います。難しいところもありますが、継続して実施しながら、事業を開催できれば良いと思います。中学生が代表で広島に派遣に行っていると思いますが、こちらも引き続き実施していただきたいと思います。</p> <p>では、継続して実施だけでも、改善すべき点もあるということでよろしいでしょうか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>では、次に5番目の「行政評価システム事業」についてです。</p>

	<p>継続して実施が3、改善が2、縮小が1となっていますので、委員さんの意見をお伺いしたいと思います。</p>
鵜飼委員	<p>継続して実施としました。これは、私は致し方がないのかなと思います。市民からの行政に対する評価ですので、何らかの方法で取り入れる必要があると思いますので、継続された方がいいのではないかと思います。</p>
加納委員	<p>私は改善です。職員の負担がかなり多いということですから、そこを減らすということで、対象の見直し、評価方法の見直しで、減らせるのではないかと考えております。それを最終的には市民にわかりやすく表示する方法も、また検討していただいた方がいいのではないかと思いますし、システム的にはしっかりできているので、それを見直すとするとなかなか大変なので、早速取りかかった方がいいのではないかと思います。</p>
伊藤委員	<p>私も職員の事務負担かなりあると思います。1つ例として挙げたんですが、このシステムに係るのかもしれませんが、評価表をできる限り簡素化できればいいと思います。</p>
小野田委員	<p>縮小としましたが、評価対象事業の減という意味での縮小としています。1年に1回事業の検討をするということは、職員にとってもいいことですから、対象事業を減としても、継続して実施した方がいいのではないかと考えています。</p>
望月副会長	<p>これは継続して実施なのですが、内部評価にあたる職員の負担が多いと伺いましたので、その改善も含めた継続して実施という評価です。</p>
村松会長	<p>このシステムは継続してやっていくものだと思います。市民目線から効果測定もするということが必要だと思いますが、事務量が多くなっているということで、企画政策課も細くなればなるほど大変だと思いますので、項目も洗い出しをしながら減らす必要があると考えています。</p> <p>評価としては改善ということでしょうか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>それでは最後に計画行政推進事務についてです。鵜飼委員から順番に意見をお願いいたします。</p>
鵜飼委員	<p>改善とさせていただきました。本来問い合わせられた事実と当初彫刻がどうやって作られたかという経緯が異なっているように感じました。彫刻自体は財産上維持管理してかなければならないと思います。ただ、もし市で撤去等の意向があるならば、早急に作者の意向を取った方がいいのではないかと思います。</p> <p>最初の設置目的が、今の皆さんが考えている内容と違っているようですが、もしも本当にアートを前面に出すのであれば、もっとPRするべきだと思いますがパンフレットやホームページの記事を見ても古いですね。もう少し根本的な考えを改善された方がいいのではないかと私は思いました。</p>
加納委員	<p>私はこの計画行政推進事業という事務全体ではなくて、彫刻に特化して拡大としました。やはり、安全を保持するためには費用がかかるので、予算的には拡大せざるをえないという意味で評価しました。あくまでも、今あるものの撤去や修繕の判断はしていかなければならないので、その分の予算は増えるかと思っています。</p>
伊藤委員	<p>彫刻の維持管理に関わる事業が、計画行政の推進になじむものなのかどうかという第一印象でございました。総合計画の進行管理をすることが、事業の目的ではないのかと思います。ただ、彫刻に関しては、先ほどから意見が出ているよう</p>

	に、調査結果を踏まえて適切な維持管理をする必要があると思います。
小野田委員	私も彫刻に絞って書いていますが、当然修繕できるものとできないものがあると思います。ですので、作者に修繕や撤去についての意向を今のうちに了承を取っておく必要があると思います。
望月副会長	「彫刻のまちみよし」を維持していくという意味合いで継続して実施と評価しましたが、彫刻の維持管理として作者への意志確認などの手続きも含め、コスト増につながっていると思います。ただ事業としては継続して実施かと思います。
村松会長	「彫刻のまちみよし」というコンセプトは市民や地域外の人にも訴えていくことが必要だと思います。当然、経年劣化があるということで、その都度修繕をしなければならないので、安全性も考えなければならないですし、台風などの自然災害もありますので、そういったものに備える必要があると思います。 予算規模だけでいうと拡大でしょうか。
加藤企画政策課副主幹	事業の評価の方向性として、コストも含めた全体でどうかというものの他に、コストの方向性と成果の方向性というものがありますので、コスト面だけでみても評価はできますが、事業全体としてどうかという形で評価の方向性を決めていただければと思います。例えば、事業継続はするけれども、維持管理にかかるコストが増えていくというのは、あくまでコストの方向性の拡大なので、事業としてはあまり考慮せず判断していただければいいかと思います。
村松会長	私としては、「彫刻のまちみよし」という印象がなかったのですが、今回お聞きしてそういうコンセプトがあるのだと感じたので、将来これは維持しなければならないと思います。それから、当然アピールしていくべきです。ある意味、観光資源ですよ。過去にも彫刻のウォークラリーなどさまざまな取組をしていたと思います。皆さんに関心を持っていただくという意味で、取組を今後も実施していただければと思います。 では、評価としては改善としてよろしいでしょうか。 【委員異議なし】 それでは、今後のプロモーション方法も考えていくということも付記していただければと思います。 以上、議題1では6事業について評価しました。 続きまして、議題2「行政評価報告書の作成について」事務局より説明をお願いします。
事務局	資料2「行政評価報告書(案)」をご確認ください。 1ページ目の、前書き前半部分では、「経済状況」、「本市の財政状況」を記載しております。後半では、「行政評価の重要性」、「外部評価の成り立ち」について記載しております。なお、後半部分については、昨年度から変更はございません。 続きまして、2ページ、3ページでは、行政評価の概要について、(1)評価の目的、(2)評価対象事務事業の選定、(3)評価対象事務事業、(4)評価の区分、(5)評価の進め方、(6)評価の基準の順で記載しております。4ページ以降は、評価対象事務事業ごとに、事業の概要、実施の必需性、現在及び将来の課題、評価結果の順に記しております。なお、評価結果につきましては、本日の委員の皆さまからの御意見を踏まえまして、意見、今後の方向性を記入させていただくため、空欄となっています。

	事務局からの説明は以上です。
村松会長	全体を通しまして、委員の先生方、何か御意見等ございますでしょうか。
加納委員	2ページの(4)の評価の区分、今後の事業の方向性として記載しているのは、内部評価の話でしょうか。この部分の表現が少しわかりにくいというのと、今後の事業の方向性の表示はどういう形になるかということですが、継続して実施という表現と、現状維持という表現があり、外部評価では継続して実施という表現を用いていると思います。
事務局	御意見いただいた2ページの評価の区分のところは修正させていただきます。 4ページ以降、評価結果の部分は本日いただいた意見で入れつつ、今後の事業の方向性の部分については、今日の結果をもとに入れさせていただきます。その際に、継続して実施の部分につきましては、現状維持という形で表現をさせていただきます。 でき上がったものにつきましては、改めて委員の皆さんに確認で御連絡をさせていただきますので、そこでまた御意見をいただければと思います。
村松会長	では、事業ごとの評価結果につきましては、資料1「外部評価シート一覧表」の内容と、本委員会でもいただいた御意見等を基にし、事務局と会長に一任していただくということによろしいでしょうか。 【委員異議なし】 ありがとうございます。 では、最後に報告事項として「令和5年度外部評価対象事業の実施状況について」事務局より説明をお願いします。
事務局	資料3をご覧ください。 令和5年度は、「ICT推進事業」「コミュニティ広場管理事業」「職員研修事業」「スポーツ教室開催事業」の4事業が対象となっていました。 表の一番右の列に、今年度の実施状況が記載されているので、簡単に説明させていただきます。 1つ目の「ICT推進事業」について、今年度は総務省のフロントヤード改革モデル事業を受託し、書かない窓口などの導入を行っています。また、紙からデータを前提とした事務に転換する文書管理システムや電子決裁システムを令和7年4月から運用開始できるようにシステム構築を行っているところです。 2つ目の「コミュニティ広場管理運営事業」は現状維持とし、引き続き地域住民の連帯意識の醸成を図り、人間性豊かな地域社会を築くため施設を設置しています。 3つ目の「職員研修事業」につきましては、自治大学校、市町村アカデミー等の全国の自治体職員が参加する研修を通して、全国の自治体職員との交流を図り、情報交換できるネットワークを構築しています。今後も引き続き、多様な働き方の実践に資するため、リモートワークを継続して実施する予定です。 4つ目の「スポーツ教室開催事業」は、市が主催する幼児体育教室とスタンプ教室を廃止し、それに代わる教室として「三好さんさんスポーツクラブ」が主催

	<p>する体づくり教室について参加を促しています。 説明は以上です。</p>
村松会長	<p>ありがとうございました。その他、全体を通して何かありますでしょうか。 それでは、本日の議題は終了となりますので、事務局へお返しします。</p>
典 礼 近藤次長	<p>委員の皆さま、本日は長時間にわたりありがとうございました。 なお、行政評価報告書につきましては、本日いただいた評価結果及び意見を基に、事務局で取りまとめ、10月中旬までに皆さまへ送付させていただきます。 その後、修正点を見直しまして、10月30日水曜日に村松会長から市長に報告していただく予定です。 また、本日決定いただきました行政評価結果につきましては、担当課に評価結果を示し、それに対する今後の事業の対応策について、11月下旬を目途にホームページで公表する予定ですので、よろしく願いいたします。 以上をもちまして、令和6年度第3回行政評価委員会を終了いたします。 恐れ入りますが、礼の交換をさせていただきますのでご起立ください。 一同礼 ありがとうございました。 【閉会】</p>